

クラブアッセンブリー
地区協議会報告

平成 20 年 4 月 23 日
担当 会長エレクト
次期幹事



地区協議会に出席した 永瀬 章次期会長、笠井琢哉次期職業奉仕委員長、原尾 勝次期社会奉仕（環境保全）委員長の 3 名の報告を記載いたします。

2630 地区協議会報告

会長エレクト 永瀬 章

岐阜 RC のホストで 4 月 19 日岐阜都ホテルにて開催
当クラブからは 12 名の会員に出席していただきました、ご苦労様でした。
本日は、会長・幹事・会計部門を代表して、私が、又、四大奉仕部門をそれぞれ
職業奉仕 次期委員長 笠井会員
社会奉仕 次期委員長 原尾会員・・・特に環境保全について
国際奉仕 次期委員長 松野会員の 4 名にて報告

大会は昼食の後、12 時点鐘来訪者の紹介に続き、田中ガバナーより地区の現状について報告

会長エレクトはこの後別室に移動し、会長エレクト会議に出席いたしました。

全体会議では、次期 R I のテーマと地区活動方針が 由良ガバナーエレクトから説明された模様

会長エレクト会議ではモデレーターをガバナーノミニーの桑月 心さんにより各地区委員長さんからお話がありました。

1. 職業奉仕 基本的には RC の歴史を学ぶことにより、職業奉仕を考え、情報を集めて
職業奉仕は誰のため？ 利他の気持ちで、奉仕する。
2. 環境保全 CO2 を無くす 車だけでなく エコライフに努める 例えばマイ箸
3. 国際奉仕 (WCS) 補助金事業の報告
高山西 RC 台北への補助
美濃加茂 RC 中国内モンゴル自治区の貧困のため不修学を 0
瑞浪 RC スリランカへの救急車の寄贈
サンリバー RC 奨学金を作り、ベトナムへ寄贈続けている
四日市北 RC ベトナムの病院に寄付を続ける

4. R財団 寄付は目的ではなく、その手段である。プログラムを考え、その実現のために使う・・・これが奉仕活動を実践することである。
年次寄付100\$のお願い 2月末で100\$以下のクラブが60クラブ
0円のクラブが15クラブもある
5. 拡大増強 会員増強は2月末日において56名のプラスとなっているが年度末が心配
10年間会員減少が続いている
魅力あるクラブ創りにより会員の増強
魅力あるクラブは親睦と奉仕がその原点であり
クラブの盛衰は会長の『やる気』に掛かっている。
会員増強に本気になって取り組んで欲しい
6. 広報情報 会員増強の応援部隊、ガバナー月信には、最新の情報 大いに利用

最後に桑月モデレーターが 奉仕活動の結果を作り出すのは会長である。
それは、環境・条件を整えるのは会長だからと結ばれた。

また、後半の部の会長・幹事・会計分科会では過日行われた PETS の報告が中心で各地区のガバナー補佐から夫々の分区の報告

地区協議会報告

次期職業奉仕委員長 笠井琢哉

本年度は、岐阜 RC がホストで、都ホテルをメイン会場に開催されました。
従来の協議会よりシンプルな構成（プログラム）とのことでしたが、昨年と違い分科会がきちんと実施され、協議会へ参加した意義はあったと思います。

分科会前に閉会の点鐘があり、その点ではシンプルになっていました。また、分科会の後はそのまま解散で、かえってただらだらすることが無く良かったと思います。

次年度の R I テーマは「夢をかたちに」(Make Dreams Real)ということで、主に、子供たちに夢を実現してもらおうと言うような事であったと思います。きれいな水すら飲めない子供たち、字の読めない子供たち、子供の死亡率など、私からすると、常識的生活以下の子供たちのことが、とりあえず念頭にあるようですが、今の日本にはそのかたちにする夢すら描けない子供がいるように思います。世界から見れば恵まれている日本の子供たちにも Dreams を持ってもらえるようにしていくというのも、身近な活動かなと思いました。

後半の分科会では、私は職業奉仕委員会に参加しました。

四大奉仕の中でもロータリーの根幹になる奉仕だと言われましたが、よく理解できていませんでした。しかし、この日の委員会で津南 RC の坂口さんのお話を聞き、奉仕の一部が分ったような気がしました。でもまだ職業奉仕活動という言葉になるといま一つ良く分かりません。7月までにはもう少し勉強しておきたいと思っています。

地区協議会報告

次期社会奉仕（環境保全）委員長
原尾 勝

4月19日（土）に岐阜R. Cホストにより、岐阜都ホテルにて開催。前半の全体会議は、解りやすい構成になっていると思えました。由良 久ガバナーエレクトの次期R I テーマ・地区活動方針報告は非常に明快でした。生まれても直に命を落とす子が一日に3万人もいるという現状。この凄まじい死亡率を低下させる事に注力して行きたい。それでテーマを子供達の《夢をかたちに》(Make Dreams Real) としたとの事。ただ、篠田パストガバナーの話にあった様に生まれても育てられないのならこの悲惨な子供達が生まれて来ない活動にもっと注力すべきであると思えます。

後半の分科会は、社会奉仕はありませんので、環境保全分科会に出席致しました。皆様、ご存知の様に温暖化防止対策は、待った無しの状況です。京都議定書の6%削減も守られておらず、洞爺湖サミットも直ぐ目の前に来ております。我々ロータリアンもCO₂削減に皆で協力出来る事を直ぐに実行して行こうという事でエコライフ、エコドライブに勤めて行く事と致しました。

本日は、エコドライブについての勉強会という事でJ A F 岐阜支部の近藤さんの講師でエコ運転術についての講習が御座いました。運転姿勢、発進時、走行時、減速時、停止時等の運転についてのレクチャーでした。

詳しくは、クラブフォーラムか卓話で出来るだけ早い次期に講演を行ない、皆様にエコ運転を実施して戴こうと考えております。このなかで直ぐに出来る事をお話しますと急発進、急ブレーキをしてはならない。今の車は、ブレーキを離すと自然に動きます。ブレーキを離して一呼吸してからアクセルを踏む。いきなりアクセルを踏むのとは、ガソリンの使用料が全く違います。即ちCO₂の排出量がかなり抑えられます。また、減速時ですが赤信号であったり、前の車に近づいたりしたら早めにアクセルから足を離す事でフューエルカットが作動し、燃料消費を大幅に抑える事が出来るからです。フューエルカットとは、アクセルから足を離すと燃料を全く使わない(燃料噴射がない)状態になる事を言います。よって車間距離を充分に取る事、赤信号であれば早めにアクセルを離す事、此れを実行するだけでも大幅にCO₂削減をする事が出来ます。

詳しくは、クラブフォーラムでお話させて戴きます。是非待った無しの温暖化防止の為にエコ運転を実施して戴きます様、御願ひして本日の報告と致します。